



入場時には、検温と消毒を徹底して行いました。また、米津小児童以外のお客様には名前を記入していただきました。

今を思いきり 楽しむ



にし お
西尾・
よねづ
米津小おやじの会



三役（社長、副社長、会計部長）会議の様子です。約2か月間に4、5回行い、販売目標、シフトなどを決めていきます。



来客者は、銀行窓口で現金を金券に交換してもらいます。コロナ対策用の仕切り板は、手作りです。

子どもたちに信頼され、ときには怖がられる。そんな存在感のある「おやじ」として、地域の宝である子どもたちをみんなで見守り、育てる。その活動の一つである「わいわいフェスタ」は子どもたちが社長や社員となり、会社運営を疑似体験するお祭り。米津小おやじの会では、一年の中でいちばん大きな規模のイベントです。

コロナ禍の中でしたが、子どもたちと一緒に諦めるのではなく、その中で開催するためにどうしたらいいのか意見を出し合い、できるかぎりの感染予防策を行って無事に開催することができました。また、運動会での飲食販売においても、規模を縮小して行うことができました。

制限の多い中ではありますが、子どもたちと一緒に「今を思いきり楽しむ」ために、これからは学校や地域の皆さんと協力しながら活動をしていきたいと思えます。

学校 DATA

所在地●西尾市米津町家下18 児童数●438人 周辺環境●明治6（1873）年開校。本校は、南に矢作川の悠久の流れを、北に緑豊かな田園を望む、西尾市の北の玄関口に位置する。学区を流れる矢作川に架かる米津橋周辺では、毎年8月に花火大会が開催され多くの見物客が訪れる。